

再評価時再評価結果(平成27年度)

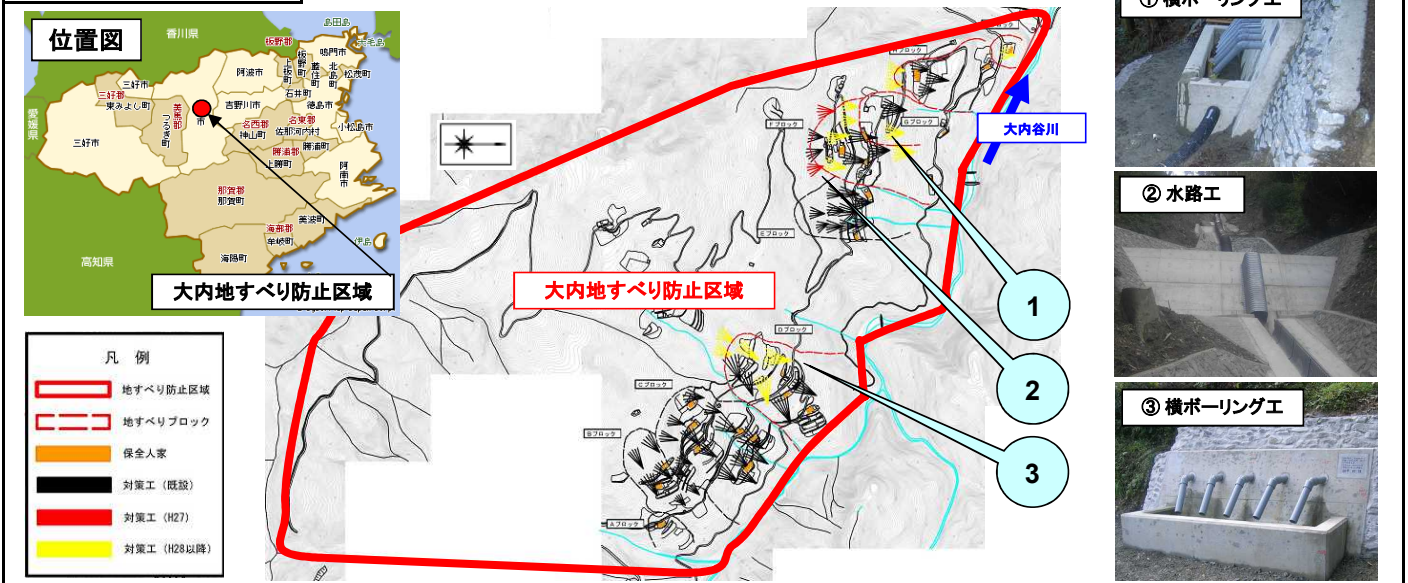
担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 大和 章人

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県美馬市穴吹町大内	箇所名	大内地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ボーリング工、水路工)				
事業の目的・必要性	当地区では、古くより地すべり活動を起こしており、近年では人家、市道等にも変状が発生していた。 当地区内には、人家22戸があり、地域住民の人命や財産を守るため、早期の対策が必要であったことから、平成13年度より地すべり対策事業に着手し、地下水を排除する抑制工を実施している。				
総事業費	720 百万円				

位置図 計画概要図



事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用	総便益
	平成27年度	2.7	2.3	9.8億円 ; 工事費・調査費 等	25.8億円 ; 人家22戸 等
事業の効果等	・保全対象の人家22戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果) ・ライフライン切断による波及被害の防止、避難経路の分断防止(B/C以外の効果) 等				
社会経済情勢等の変化	近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対して防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難路を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。				
事業の進捗状況	これまでの対策により、いくつかのブロックでは地すべり変動が沈静化している。一方で、依然地下水位が高く地すべりの危険が高いことから継続して観測及び対策工を実施している。 平成27年度の進捗率は事業費ベースで86%である。				
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 残事業費+10%: 2.6, 残事業費-10%: 2.7, 工期+10%: 2.7, 工期-10%: 2.6, 一般資産+10%: 2.9, 一般資産-10%: 2.4				
事業進捗の見込み	地下水位が高いことから効果的な対策を検討しながら、平成30年度の概成を目指して進める。				
対応方針	事業継続				
対応方針理由	依然として地下水位の高いブロックがあり、地すべりの危険があることから対策の必要がある。また、地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。				

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

継続の理由

区域内では地すべりの原因となる地下水が依然として多く、地すべりの危険性が高い。また、上記の事業評価結果より費用対便益が2.7と大きく、事業進捗率も86%と事業完了が比較的近い。したがって、地域の人命・財産の保全するため、平成30年度の完成に向けて地すべり対策事業を継続する。